

平成29年度下半期

(平成29年10月1日から平成30年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工 業 用 水 道 事 業

地 域 振 興 事 業

県 立 病 院 事 業

宮 崎 県

平成29年度下半期

(平成29年10月1日から平成30年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

電 気 事 業

工業用水道事業

地域振興事業

宮崎県企業局

目 次

電気事業の業務状況

1	事業の概況	1	頁
2	経理の状況	2	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	5	〃
4	平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要	7	〃

工業用水道事業の業務状況

1	事業の概況	8	〃
2	経理の状況	9	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	12	〃
4	平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要	13	〃

地域振興事業の業務状況

1	事業の概況	14	〃
2	経理の状況	15	〃
3	資産・企業債及び借入金の現在高	18	〃
4	平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要	19	〃

電気事業の業務状況

電気事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、6つの河川総合開発事業等により建設した14発電所において発電を行い、電気を供給しています。

平成29年度下半期は、降雨に恵まれるとともに効率的な発電に努めた結果、供給電力量は1億8,494万kWh余で、目標に対する達成率は124.5%、また、電力料金収入は22億7,388万円余で、目標に対する達成率は101.9%となりました。

(1) 供給電力量

(単位：千kWh)

月別	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				29年度 (B/A)	28年度
10月	33,700	58,095	24,395	172.4%	147.0%
11月	21,895	29,036	7,141	132.6%	114.0%
12月	17,622	10,147	△7,475	57.6%	103.8%
1月	15,383	12,142	△3,241	78.9%	133.8%
2月	20,627	17,209	△3,418	83.4%	81.0%
3月	39,287	58,312	19,025	148.4%	57.1%
下半期計	148,514	184,941	36,427	124.5%	—
前年度下半期計	148,532	152,539	4,007	—	102.7%

(2) 電力料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				29年度 (B/A)	28年度
基本料金 (定額料金)	2,045,047	2,045,058	11	100.0%	101.4%
電力量料金 (従量料金)	186,752	228,830	42,078	122.5%	102.6%
下半期計	2,231,799	2,273,888	42,089	101.9%	—
前年度下半期計	2,204,912	2,237,202	32,290	—	101.5%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	24	85	0	109	1
前年度下半期	24	84	0	108	0

※各年度3月31日現在の人員（管理者を除く。）

2 経理の状況

収益的収入については、財務収益の増等により、事業収益の収入率は 103.0%となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は89.1%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	4,729,455	4,750,797 (2,303,282)	21,342	100.5%
附帯事業収益	82,720	83,968 (32,450)	1,248	101.5%
財務収益	167,134	253,060 (118,470)	85,926	151.4%
営業外収益	70,133	100,567 (55,197)	30,434	143.4%
特別利益	0	14,474 (14,474)	14,474	—
事業収益	5,049,442	5,202,866	153,424	103.0%
前年度事業収益	5,081,473	5,256,363	174,890	103.4%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
営業費用	4,464,380	3,982,709 (2,280,040)	1,163	480,508	89.2%
附帯事業費用	73,404	63,612 (36,063)	0	9,792	86.7%
財務費用	73,027	73,024 (34,461)	0	3	99.9%
営業外費用	279,370	279,368 (91,409)	0	2	99.9%
特別損失	0	0 (0)	0	0	—
予備費	50,000	0 (0)	0	50,000	0.0%
事業費	4,940,181	4,398,713	1,163	540,305	89.1%
前年度事業費	4,804,436	4,335,870	1,057	467,509	90.3%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

ア 収入

(消費税込み 単位: 千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
工事負担金	3,322	0 (0)	△ 3,322	-
固定資産売却代金	1	874 (874)	873	87,400.0%
貸付金返還金	669,967	669,968 (669,968)	1	100.0%
資本的収入	673,290	670,842	△ 2,448	99.6%
前年度資本的収入	726,072	731,153	5,081	100.7%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位: 千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	繰越額 (C)	不用額 (A-B-C)	執行率 (B/(A-C))
建設改良費	1,556,304	514,308 (510,637)	410,734	631,262	44.9%
企業債償還金	477,955	477,954 (239,726)	0	1	99.9%
繰出金	1,000,000	1,000,000 (0)	0	0	100.0%
雑支出	30	19 (19)	0	11	63.3%
予備費	100,000	0 (0)	0	100,000	0.0%
資本的支出	3,134,289	1,992,281	410,734	731,274	73.2%
前年度資本的支出	2,984,674	2,299,179	270,031	415,464	84.7%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況 (改良工事費 1,000万円以上)

平成29年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 渡川発電所取付道路工事 (その1) 57,324 千円
- ・ 渡川発電所取付道路工事 (その2) 42,340 千円
- ・ 岩瀬川発電所同期用遮断器取替工事 17,071 千円
- ・ 綾第一発電所南機同期用遮断器取替工事 16,611 千円
- ・ 渡川発電所天井クレーン改良工事 14,916 千円
- ・ 綾第二発電所直流電源装置蓄電池取替ほか1件工事 12,226 千円

(3) 損益計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収益の部は、電力料等により、48億4,495万円余となり、費用の部は、40億7,868万円余となった結果、7億6,626万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	4,844,952 (2,350,898)	
営業収益	4,400,094 (2,133,314)	電力料など
附帯事業収益	77,749 (30,047)	
財務収益	253,060 (118,469)	
営業外収益	99,575 (54,594)	
特別利益	14,474 (14,474)	

費用の部	4,078,689 (2,306,618)	
営業費用	3,901,182 (2,215,029)	
附帯事業費用	63,004 (35,540)	
財務費用	73,024 (34,461)	
営業外費用	41,479 (21,588)	
特別損失	0 (0)	

当年度純利益	766,263	
その他未処分利益剰余金変動額	283,550	
当年度未処分利益剰余金	1,049,813	

注) () 書きが下半期分以内数です。

(4) 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	30,964,918	固定負債	3,581,893
電気事業固定資産	16,923,930	建設改良企業債	1,702,082
附帯事業固定資産	836,548	リース債務	18,726
事業外固定資産	141,011	引当金	1,846,850
固定資産仮勘定	429,845	雑固定負債	14,235
投資その他の資産	12,633,584	流動負債	3,865,476
流動資産	22,385,087	建設改良企業債	405,393
現金及び預金	1,130,195	リース債務	7,458
未収金	495,297	引当金	65,818
貯蔵品	2,118	未払金	670,261
短期投資	20,757,477	未払費用	367,306
		預り金	5,240
		雑流動負債	2,344,000
		繰延収益	906,366
		長期前受金	2,042,954
		長期前受金収益化累計額	△ 1,136,588
		負債合計	8,353,735
		資本金	27,547,424
		固有資本金	265
		繰入資本金	34,388
		組入資本金	27,512,771
		剰余金	12,528,572
		資本剰余金	321,823
		利益剰余金	12,206,749
		評価・換算差額等	4,920,274
		その他有価証券評価差額金	4,920,274
		資本合計	44,996,270
資産合計	53,350,005	負債資本合計	53,350,005

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成30年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容		
電気事業固定資産	16,923,930	水力発電設備	14,946,610	
		送電設備	693,028	
		業務設備	1,284,292	
附帯事業固定資産	836,548	小水力発電設備	744,976	
		太陽光発電設備	91,572	
事業外固定資産	141,011	有形固定資産	86,734	
		分収林	54,277	
固定資産仮勘定	429,845	建設仮勘定	429,845	
投資その他の資産	長期投資	7,834,667	株式	4,860,848
			出資金	9,160
			長期貸付金	2,964,659
	基金	4,798,729	減債基金	2,301,879
			濁水等欠損準備基金	650,000
			特別修繕基金	1,263,965
			退職給付基金	582,885
	その他資産	188	長期前払金	188
	現金及び預金	1,130,195	当座預金	830,195
			定期預金	300,000
未収金	495,297			
貯蔵品	2,118			
短期投資	20,757,477			
合計	53,350,005			

(2) 企業債

平成30年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

ア 投資先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

投資先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業債	37,629,175	35,521,700	2,107,475	
川原発電所	7,415	7,415	0	
石河内第二発電所	9,885	9,885	0	
石河内第一発電所	3,248,875	3,206,849	42,026	
渡川発電所	4,051,000	3,969,624	81,376	
綾第一発電所	7,314,000	6,998,554	315,446	
綾第二発電所	4,056,000	3,976,099	79,901	
立花発電所	2,403,000	2,384,355	18,645	
三財発電所	2,328,000	1,976,714	351,286	
岩瀬川発電所	3,091,000	3,005,113	85,887	
祝子発電所	3,638,000	3,638,000	0	
上祝子発電所	1,327,000	1,098,621	228,379	
田代八重発電所	2,942,000	2,107,677	834,323	
浜砂発電所	1,436,000	1,365,794	70,206	
設備近代化	1,777,000	1,777,000	0	
公共事業債	12,000	12,000	0	
投資債	1,214,200	1,214,200	0	
災害債	20,000	20,000	0	
合計	38,875,375	36,767,900	2,107,475	償還率 94.6%

イ 借入先別企業債明細

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	14,964,404	14,199,551	764,853	
総務省	4,119,300	4,119,300	0	
地方公共団体金融機構	16,916,000	15,573,378	1,342,622	
宮崎銀行	1,986,620	1,986,620	0	
鹿児島銀行	383,000	383,000	0	
みずほ銀行	131,000	131,000	0	
農林中央金庫	288,000	288,000	0	
一般公募等	87,051	87,051	0	
合計	38,875,375	36,767,900	2,107,475	償還率 94.6%

(3) 一時借入金

平成30年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成30年3月31日現在、他会計からの借入金はありません。

4 平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については経営基盤の強化と供給信頼性の向上に努め、電力の安定供給を図るとともに、公営企業として健全経営の維持と地域貢献の充実を積極的に推進します。

(2) 業務予定量

水力発電に係る年間供給電力量を計上しており、料金収入は昨年度に比べ 4,627万円余の増を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比
年間供給電力量 (目標)	千kWh 507,855	千kWh 503,095	100.9%
料金収入 (目標)	千円 4,754,136	千円 4,707,861	101.0%

(3) 当初予算額

事業収益は、財務収益の増等により、昨年度に比べ1億135万円余の増、事業費は、修繕費の増等により1億2,477万円余の増を見込んでいます。その結果、収支残は8,690万円余(対前年度比21.2%減)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	5,150,799	5,049,442	101,357	財務収益の増
	事業費	5,063,896	4,939,124	124,772	修繕費の増
	収支残	86,903	110,318	△ 23,415	
資本的 収支	資本的収入	69,968	673,290	△ 603,322	貸付金返還金の減
	資本的支出	2,712,869	2,864,258	△ 151,389	建設改良費の減
	収支残	△ 2,642,901	△ 2,190,968	△ 451,933	

※ 資本的収支の不足額 2,642,901千円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、電気事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、本県の豊かな水資源を生かした水力発電や再生可能エネルギー導入の取組などを通して、本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進に寄与してまいります。

工業用水道事業の業務状況

工業用水道事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、細島工業団地に工業用水を供給する目的で、昭和39年10月から給水を開始しており、給水能力は日量 125,000m³で、現在13社に給水を行っています。

平成29年度下半期は、一部ユーザーで増減があったものの、常時使用水量は993万m³余で目標に対する達成率は100.9%、給水料金収入は1億6,299万円余で、目標に対する達成率は100.3%となりました。

(1) 給水状況

(単位：千m³)

月 別	基本使用水量	常時使用水量					未達水量
		目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率		
					29年度 (B/A)	28年度	
10月	3,044	1,680	1,695	15	100.9%	98.0%	1,349
11月	2,946	1,621	1,637	16	101.0%	97.7%	1,309
12月	3,043	1,677	1,691	14	100.8%	97.7%	1,352
1月	3,043	1,677	1,691	14	100.8%	97.7%	1,352
2月	2,750	1,514	1,529	15	101.0%	97.7%	1,221
3月	3,043	1,677	1,691	14	100.8%	97.7%	1,352
下半期計	17,869	9,846	9,934	88	100.9%	—	7,935
前年度下半期計	17,904	10,342	10,108	△ 234	—	97.7%	7,796

※平成29年度年間常時使用水量 (目標) 19,935千m³

(2) 給水料金収入

(消費税込み 単位：千円)

区 分	目 標 (A)	実 績 (B)	比 較 (B-A)	達 成 率	
				29年度 (B/A)	28年度
常時使用水量分	110,593	111,575	982	100.9%	97.7%
未達水量分	51,985	51,419	△ 566	98.9%	101.8%
下半期計	162,578	162,994	416	100.3%	—
前年度下半期計	165,794	164,062	△ 1,732	—	99.0%

※料金単価 基本料金：10.4円/m³、未達料金：6.0円/m³、超過料金：20.8円/m³

(3) 職員の状況

(単位：人)

区 分	事 務 職	技 術 職	その他職員	職 員 計	うち再任用職員
下半期	0.9	6	0	6.9	0
前年度下半期	0.9	6	0	6.9	0

※各年度3月31日現在の人員 (管理者を除く。)

※各年度とも事務職の0.9人は地域振興事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増により、事業収益の収入率は 104.1% となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は80.2%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	328,957	329,271 (163,588)	314	100.1%
営業外収益	46,185	61,427 (37,906)	15,242	133.0%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	375,142	390,698	15,556	104.1%
前年度事業収益	400,972	403,053	2,081	100.5%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	337,100	275,237 (168,539)	61,863	81.6%
営業外費用	16,144	16,142 (6,238)	2	99.9%
特別損失	0	0 (0)	0	—
予備費	10,000	0 (0)	10,000	0.0%
事業費	363,244	291,379	71,865	80.2%
前年度事業費	387,889	339,880	48,009	87.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
資本的収入	0	0	0	-
前年度資本的収入	0	0	0	-

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
建設改良費	52,377	878 (878)	51,499	1.7%
企業債償還金	8,519	8,519 (4,305)	0	99.9%
借入金償還金	60,000	60,000 (60,000)	0	100.0%
予備費	10,000	0 (0)	10,000	0.0%
資本的支出	130,896	69,397	61,499	53.0%
前年度資本的支出	204,576	197,621	6,955	96.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成29年度下半期に実施した主な改良工事はありません。

(3) 損益計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収益の部は、給水収益等により3億6,643万円余となり、費用の部は、2億6,718万円余となった結果、9,925万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	366,437 (189,380)	
営業収益	305,010 (151,474)	給水収益など
営業外収益	61,427 (37,906)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	267,183 (162,728)	
営業費用	266,253 (162,307)	
営業外費用	930 (421)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	99,254	
その他未処分利益剰余金変動額	68,519	
当年度未処分利益剰余金	167,773	

注) () 書きが下半期分で内数です。

(4) 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	2,083,333	固定負債	2,207,856
有形固定資産	2,059,977	建設改良企業債	12,968
無形固定資産	3,760	建設改良他会計借入金	960,000
固定資産仮勘定	19,447	その他の他会計借入金	1,191,225
投資その他の資産	149	引当金	43,663
流動資産	2,214,127	流動負債	113,516
現金及び預金	54,528	建設改良企業債	5,721
未収金	28,739	建設改良他会計借入金	60,000
貯蔵品	860	未払金	13,375
雑流動資産	2,130,000	未払費用	30,044
		預り金	256
		引当金	4,120
		繰延収益	465,045
		長期前受金	844,616
		長期前受金収益化累計額	△ 379,571
		負債合計	2,786,417
		資本金	440,528
		固有資本金	2,906
		組入資本金	437,622
		剰余金	1,070,515
		資本剰余金	1,170
		利益剰余金	1,069,345
		資本合計	1,511,043
資産合計	4,297,460	負債資本合計	4,297,460

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成30年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容
有形固定資産	2,059,977	土地 11,913
		建物 104,670
		構築物 1,809,774
		機械及び装置 133,154
		備品 466
無形固定資産	3,760	電話加入権 569
		ソフトウェア 3,191
固定資産仮勘定	19,447	建設仮勘定 19,447
投資その他の資産	149	出資金 140
		長期前払金 9
現金及び預金	54,528	当座預金 54,528
未収金	28,739	
貯蔵品	860	
雑流動資産	2,130,000	
合計	4,297,460	

(2) 企業債

平成30年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	発行総額	償還額累計	未償還残高	備考
財務省	177,000	167,041	9,959	
総務省	455,000	455,000	0	
地方公共団体金融機構	780,000	771,270	8,730	
宮崎銀行	717,000	717,000	0	
合計	2,129,000	2,110,311	18,689	償還率 99.1%

(3) 一時借入金

平成30年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成30年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
一般会計	1,746,606	1,746,606	0	
電気事業会計	2,924,405	713,180	2,211,225	
合計	4,671,011	2,459,786	2,211,225	償還率 52.7%

4 平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、工業用水の安定供給に努め、県北地域の経済振興に寄与していくとともに、更なる経営の安定化を図るため、引き続き費用抑制に努めます。

(2) 業務予定量

年間総給水量は、13社との契約水量を踏まえ 3,581万 m^3 余としています。料金収入は、一部ユーザの常時使用水量が減となることから、前年度に比べ30万円余の減を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比
年間総給水量 (目標)	千 m^3 35,817	千 m^3 35,835	99.9%
料金収入 (目標)	千円 326,647	千円 326,948	99.9%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業収益の減等により昨年度に比べ16万円の減、事業費は消費税納付額の減等により 679万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は 1,853万円余 (対前年度比55.8%増) を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収 支	事業収益	374,982	375,142	△ 160	営業収益の減
	事業費	356,450	363,244	△ 6,794	消費税納付額の減
	収支残	18,532	11,898	6,634	
資本的 収 支	資本的収入	0	0	0	
	資本的支出	319,008	130,896	188,112	建設改良費の増
	収支残	△ 319,008	△ 130,896	△ 188,112	

※ 資本的収支の不足額 319,008千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、工業用水道事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、健全経営の維持に努め、低廉な工業用水を安定的に供給し、本県の産業振興に寄与してまいります。

地域振興事業の業務状況

地域振興事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

本事業では、一ツ瀬川の河川敷を利用してゴルフ場などを整備し、平成2年11月から営業を行っています。

平成29年度下半期の利用者数は15,970人で、目標に対する達成率は89.2%となりました。

(1) ゴルフコース利用状況

(単位：人)

月別	目標 (A)	実績 (B)			比較 (B-A)	達成率	
		平日	休日	合計		29年度 (B/A)	28年度
10月	3,000	1,792	661	2,453	△ 547	81.8%	84.7%
11月	3,200	1,981	1,085	3,066	△ 134	95.8%	93.6%
12月	3,200	2,042	1,121	3,163	△ 37	98.8%	98.8%
1月	3,100	1,548	1,099	2,647	△ 453	85.4%	84.4%
2月	2,700	1,404	857	2,261	△ 439	83.7%	105.9%
3月	2,700	1,563	817	2,380	△ 320	88.1%	95.7%
下半期計	17,900	10,330	5,640	15,970	△ 1,930	89.2%	—
前年度下半期計	17,900	11,082	5,675	16,757	△ 1,143	—	93.6%

※平日の65歳以上の利用者数は 9,114人で下半期全体の57.1%

(2) 施設利用料収入 (納付金)

(消費税込み 単位：千円)

区分	目標 (A)	実績 (B)	比較 (B-A)	達成率	
				29年度 (B/A)	28年度
下半期計	10,800	10,800	0	100.0%	—
前年度下半期計	10,800	10,800	0	—	100.0%

(3) 職員の状況

(単位：人)

区分	事務職	技術職	その他職員	職員計	うち再任用職員
下半期	0.1	0	0	0.1	0
前年度下半期	0.1	0	0	0.1	0

※各年度3月31日現在の人員 (管理者を除く。)

※各年度とも事務職の0.1人は工業用水道事業会計との兼務

2 経理の状況

収益的収入については、営業外収益の増等により事業収益の収入率は 100.8% となりました。

収益的支出については、営業費用の減等により、事業費の執行率は92.9%となりました。

(1) 収益的収入及び支出（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

ア 収入

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
営業収益	21,731	21,728 (10,803)	△ 3	99.9%
営業外収益	2,828	3,022 (1,526)	194	106.9%
特別利益	0	0 (0)	0	—
事業収益	24,559	24,750	191	100.8%
前年度事業収益	27,467	28,725	1,258	104.6%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

(消費税込み 単位：千円)

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
営業費用	21,541	20,561 (9,840)	980	95.5%
営業外費用	1,479	1,306 (767)	173	88.3%
特別損失	0	0 (0)	0	—
予備費	509	0 (0)	509	—
事業費	23,529	21,867	1,662	92.9%
前年度事業費	25,358	23,168	2,190	91.4%

注) () 書きが下半期分で内数です。

(2) 資本的収入及び支出（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

ア 収入

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	収入済額 (B)	増減額 (B-A)	収入率 (B/A)
出資金返還金	700	700 (700)	0	100.0%
資本的収入	700	700	0	100.0%
前年度資本的収入	700	700	0	100.0%

注) () 書きが下半期分で内数です。

イ 支出

（消費税込み 単位：千円）

科目	予算額 (A)	執行済額 (B)	不用額 (A-B)	執行率 (B/A)
建設改良費	4,286	3,841 (655)	445	89.6%
借入金償還金	9,968	9,968 (9,968)	0	100.0%
予備費	3,000	0 (0)	3,000	0.0%
資本的支出	17,254	13,809	3,445	80.0%
前年度資本的支出	45,999	40,865	5,134	88.8%

注) () 書きが下半期分で内数です。

ウ 主な改良工事の概況（改良工事費 100万円以上）

平成29年度下半期に実施した主な改良工事は、次のとおりです。

- ・ 一ツ瀬ゴルフ場サービスセンター屋根防水塗装修繕工事 2,311千円

(3) 損益計算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収益の部は、施設利用料等により 2,315万円余となり、費用の部は、2,055万円余となった結果、259万円余の純利益を確保しました。

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	備 考
収益の部	23,150 (11,529)	
営業収益	20,128 (10,003)	施設利用料など
営業外収益	3,022 (1,526)	
特別利益	0 (0)	
費用の部	20,552 (9,856)	
営業費用	20,346 (9,650)	
営業外費用	206 (206)	
特別損失	0 (0)	
当年度純利益	2,598	
その他未処分利益剰余金変動額	9,968	
当年度未処分利益剰余金	12,566	

注) () 書きが下半期分で内数です。

(4) 貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(消費税抜き 単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	667,539	固定負債	743,595
スポーツ・レクリエーション施設	664,718	建設改良他会計借入金	743,065
投資その他の資産	2,821	引当金	530
流動資産	227,632	流動負債	14,283
現金及び預金	8,229	建設改良他会計借入金	9,968
未収金	5,403	引当金	65
雑流動資産	214,000	未払金	1,375
		未払費用	2,875
		繰延収益	1,448
		長期前受金	2,005
		受贈財産評価額	2,005
		長期前受金収益化累計額	△ 557
		受贈財産評価額	△ 557
		負債合計	759,326
		資本金	85,588
		組入資本金	85,588
		剰余金	50,257
		資本剰余金	5
		利益剰余金	50,252
		資本合計	135,845
資産合計	895,171	負債資本合計	895,171

3 資産・企業債及び借入金の現在高

(1) 資産

平成30年3月31日現在の資産の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

科目	金額	内容	
スポーツ・レクリエーション施設	664,718	土地	28,457
		建物	96,207
		構築物	517,722
		機械及び装置	754
		備品	21,578
投資その他の資産	2,821	出資金	2,800
		長期前払金	21
現金及び預金	8,229	当座預金	8,229
未収金	5,403		
雑流動資産	214,000		
合計	895,171		

(2) 企業債

平成30年3月31日現在、企業債の残高はありません。

(3) 一時借入金

平成30年3月31日現在、一時借入金はありません。

(4) 他会計借入金

平成30年3月31日現在の他会計借入金の状況は、次のとおりです。

(消費税抜き 単位：千円)

借入先	借入総額	償還額累計	未償還残高	備考
電気事業会計	895,000	141,967	753,033	
合計	895,000	141,967	753,033	償還率 15.9%

4 平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 事業経営方針

当事業については、平成18年度から指定管理者制度を導入し、利用者のサービス向上を図っているところであり、引き続き指定管理者と緊密に連携しながら、利用促進に努めてまいります。

(2) 業務予定量

年間利用者数は昨年度目標と同数とし、施設利用料は昨年度と同額を見込んでいます。

(消費税込み)

区 分	平成30年度	平成29年度	前年度比
年間利用者数 (目標)	人 33,500	人 33,500	100.0%
施設利用料 (目標)	千円 21,600	千円 21,600	100.0%

(3) 当初予算額

事業収益は、営業外収益の増等により昨年度に比べ6万円余の増、事業費は消費税の減等により12万円余の減を見込んでいます。その結果、収支残は122万円余(対前年度比18.5%増)を見込んでいます。

(消費税込み 単位：千円)

区 分	平成30年度 (A)	平成29年度 (B)	増 減 (A-B)	主な増減理由	
収益的 収支	事業収益	24,624	24,559	65	営業外収益の増
	事業費	23,403	23,529	△ 126	消費税の減
	収支残	1,221	1,030	191	
資本的 収支	資本的収入	700	700	0	
	資本的支出	21,608	17,254	4,354	建設改良費の増
	収支残	△ 20,908	△ 16,554	△ 4,354	

※ 資本的収支の不足額20,908千円は、借入金償還積立金等で補てんする予定。

5 むすび

以上が、地域振興事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要です。

今後とも、幅広く県民に親しまれるゴルフ場をめざし、施設の適切な管理運営など利用者のサービス向上に努め、公共の福祉の増進に寄与してまいります。

平成29年度下半期

(平成29年10月1日から平成30年3月31日まで)

宮崎県公営企業業務状況報告書

県立病院事業

宮崎県病院局

目 次

県立病院事業の業務状況

1	事業の概況	20	頁
2	経理の状況	21	〃
3	企業債及び借入金の現在高	22	〃
4	平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要	23	〃

県立病院事業の業務状況

県立病院事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要をお知らせします。

1 事業の概況

平成29年度下半期の事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の概況

平成29年度下半期における利用患者数は、延入院患者数175,125人、延外来患者数183,212人で、前年度同期と比較すると、入院で4,386人、外来で1,417人増加しています。

ア 延入院患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	29年度	28年度	増 減	増減率
宮崎病院	73,780	72,132	1,648	2.3
延岡病院	61,225	56,373	4,852	8.6
日南病院	40,120	42,234	△ 2,114	△ 5.0
計	175,125	170,739	4,386	2.6

イ 延外来患者数（下半期）

(単位：人、%)

病院名	29年度	28年度	増 減	増減率
宮崎病院	84,995	84,810	185	0.2
延岡病院	53,175	51,231	1,944	3.8
日南病院	45,042	45,754	△ 712	△ 1.6
計	183,212	181,795	1,417	0.8

(2) 職員の状況

(単位：人)

年度	職種								計
	医 師	薬 剤 師	診 療 放射線 技 師	臨 床 検 査 技 師	そ の 他 の 医 療 技 術 員	看 護 師	事 務 員		
28年度	191	47	42	54	65	1,067	59	1,525	
29年度	201	47	43	52	71	1,083	59	1,556	
増 減	10	0	1	△ 2	6	16	0	31	

※ 各年度3月31日現在です。また、管理者を除いた数です。

2 経理の状況

(1) 収益的収支（下半期）

平成29年度下半期の収益的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	収 益 (A)				費 用 (B)				差引 A-B
	医業収益	医業外収益	特別利益	計	医業費用	医業外費用	特別損失	計	
宮崎病院	6,385,738	844,648	0	7,230,386	6,932,312	268,886	70,483	7,271,680	△ 41,295
延岡病院	4,931,928	646,424	176,637	5,754,989	5,382,646	348,067	0	5,730,713	24,275
日南病院	2,592,256	452,129	141,593	3,185,978	3,108,057	200,416	5,373	3,313,846	△ 127,868
計	13,909,921	1,943,201	318,230	16,171,352	15,423,015	817,369	75,856	16,316,240	△ 144,887

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 資本的収支（下半期）

平成29年度下半期の資本的収支の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

収 入		支 出	
企 業 債	1,464,900	建 設 改 良 費	1,405,281
一 般 会 計 負 担 金	911,050	企 業 債 償 還 金	1,562,638
そ の 他 資 本 収 入	1,200	投 資	2,850
計	2,377,150	計	2,970,769
		収支差引	△ 593,618

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 貸借対照表

平成30年3月31日現在の貸借対照表は、次のとおりです。

(単位：千円)

資産の部		負債・資本の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
固定資産	28,919,872	固定負債	22,402,180
流動資産	16,812,965	流動負債	13,815,043
繰延資産	1,362	繰延収益	2,734,825
		負債合計	38,952,048
		資本金	12,743,396
		剰余金	△ 5,961,244
		資本合計	6,782,152
資産合計	45,734,200	負債・資本合計	45,734,200

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

3 企業債及び借入金の現在高

(1) 企業債明細表

平成30年3月31日現在の企業債の状況は、次のとおりです。

(単位：千円)

区分 病院名	発行総額	償還額		未償還残高
		当年度	累 計	
宮崎病院	7,287,000	768,872	3,099,790	4,187,210
延岡病院	23,178,500	1,318,777	12,838,942	10,339,558
日南病院	17,995,600	1,025,525	9,602,615	8,392,985
計	48,461,100	3,113,174	25,541,347	22,919,753

※ 四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) 一般会計借入金 なし

(3) 一時借入金 なし

4 平成30年度の事業の経営方針及び予算の概要

(1) 経営方針

公共の福祉の増進と経済性の発揮との調和を図りながら、本県の中核病院としての医療水準・患者サービスの向上と県民医療の確保を図ることを基本としています。

(2) 年間患者数（目標）

（単位：人）

	30年度目標	29年度予算	増 減
延入院患者数	360,620	359,525	1,095
延外来患者数	373,076	372,344	732
計	733,696	731,869	1,827

(3) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

収入

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業収益	医業収益	入院収益	20,763,822	
		外来収益	6,264,493	
		一般会計負担金	613,981	
		その他医業収益	378,003	
		特別利益	434,974	
	医業外収益	受取利息配当金	4,000	
		一般会計負担金	2,095,440	
		一般会計補助金	214,407	
		補助金	52,793	
		長期前受金戻入	1,482,528	
		その他医業外収益	125,694	
		予備費	3,000	
		特別損失	0	
合計	32,430,135			

支出

（単位：千円）

款	項	目	予定額	備考
病院事業費用	医業費用	給与費	15,920,550	
		材料費	8,219,970	
		経費	4,817,183	
		減価償却費	2,509,050	
		資産減耗費	73,039	
		研究研修費	199,599	
		特別損失	0	
		予備費	3,000	
		特別損失	0	
	医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	464,298	
		雑損失	41,555	
		消費税及び地方消費税	15,000	
		繰延勘定償却	1,363	
		長期前払消費税勘定償却	89,272	
		特別損失	0	
合計	32,353,879			

イ 資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的収入	企業債		7,669,178	
			5,992,200	
	一般会計負担金	企業債	5,992,200	
			1,676,978	
		一般会計負担金	1,676,978	

支出

(単位：千円)

款	項	目	予定額	備考
資本的支出	建設改良費		9,171,757	
			6,182,097	
		改築整備費	1,889,285	
		改良工事費	684,800	
		資産購入費	3,557,976	
	企業債償還金	リース資産購入費	50,036	
			2,952,660	
	投資	企業債償還金	2,952,660	
			36,000	
		投資	36,000	
予備費		1,000		

むすび

県立病院事業の平成29年度下半期の業務状況と平成30年度の経営方針及び予算の概要は、以上のとおりです。

今後とも本県の中核病院として機能充実と経営健全化に向けた努力を重ねながら、より良い医療サービスの確保に努力してまいります。